

予算審査特別委員会

委員長 近藤 千鶴子
副委員長 向後 保雄

平成26年度一般会計および特別会計などの予算案18件を審査するため、3月3日に全議員で構成する予算審査特別委員会を設置し、計6日間にわたり審査しました。

また、3月18日に議長から市長に対して、指摘要望事項を提出し、市政運営に反映させるとともに、反映状況の報告を求めました。



委員長

分科会での主な質疑をご紹介します。

保健消防分科会

(所管)保健福祉局・消防局・病院局

認知症初期集中支援チームは

問 新規事業である支援チームの目的と効果は。

答 看護系と介護系専門職によるチームが認知症の方、認知症が疑われる方の自宅を訪問し、病気の進行によってどのような障害が生じうるかの説明、障害を考慮した自宅の環境整備への助言、ご本人が希望する今後の過ごし方を家族やケアスタッフと共有する支援などを行う。認知症の早期発見や適切なサービス利用につながるという効果を期待する。

女性消防職員の働きやすい勤務環境整備を

問 稲毛・美浜・緑の3消防署で行われる女性消防職員の交代制勤務などを可能にするための施設改修の具体的な内容は。また、改修により勤務可能になる女性消防職員の数は。

答 現在、談話室などに使用しているスペースを、女性専用の仮眠室、風呂、トイレ、洗面所に改築する。これにより、12名の女性消防職員の勤務が可能になる。



活躍が期待される女性消防職員

環境経済分科会

(所管)市民局・環境局・経済農政局・農業委員会

千葉公園新体育施設整備の基礎調査は

問 千葉公園スポーツ施設、武道館などの老朽化、耐震化への対応として、千葉公園内への集約を含めた新たなスポーツ施設建設の基礎調査の内容について伺う。

答 用地の活用調査や、競技団体からの意見聴取により、新施設の基本コンセプトの素案的なものを策定する。市民総体が開催出来る規模のものを検討してみたい。



老朽化した千葉公園体育館

プレミアム付き商品券の概要は

問 消費税率引き上げに伴う消費の落ち込みへの対策であるプレミアム付き商品券発行事業の概要について伺う。

答 発行総額は7億7,000万円を予定している。1セット11,000円相当の商品券を10,000円で、一人3セットまで販売する。商品券の種類は、1,000円の中小店専用券6枚、中小店大型店共通券5枚で、中小店や商店街へ消費の誘導を図る。参加店舗は、市内の小売店、飲食店、各種サービス業に幅広く呼び掛けたい。

教育未来分科会

(所管)こども未来局・教育委員会

認定こども園移行への課題は

問 市内の既存の幼稚園などが、幼保連携型認定こども園に移行するにあたっての課題は。

答 大きな課題は2つある。設備面で調理室などを整備する必要があることと、ソフト面で、保育士と幼稚園教諭双方の資格を有する保育教諭が必要となることである。

教職員研修の充実は

問 団塊の世代の退職により、若年層の教職員が増えているが、研修についての考え方。

答 教職員のニーズに応じた研修として、現場研究員、21世紀を拓く課題研修、長期研修などを実施した。特に21世紀を拓く課題研修は、学習指導、英語による教育など6部門の研究課題に対して、他の府県での研修を通じて本市の学校教育及び校内研修の充実向上のための研究推進者の育成を目的に、本年度から実施した。これらの研修を通して、本市の教育の充実発展に寄与する人材を育成していきたい。



長期研修開講式の様子

都市建設分科会

(所管)都市局・建設局・水道局

都市計画マスタープランの見直しは

問 都市計画マスタープランの見直しでは、これまで築いてきた都市構造を転換していくことになるが、どのような視点でプランを見直すのか。

答 現在のプランは、平成16年時点での人口が増加する状況で作られた計画だが、今後は、人口が減少していくことを踏まえ、今まで拡大してきた市街地を、いかに集約していくかの視点が中心となる。

道路維持管理の計画は

問 耐用年数を踏まえた道路舗装の計画的な補修についての考え方。

答 幹線道路については、計画的な修繕により維持管理コストの縮減、平準化を図るべきと考えており、平成26年度に道路舗装の修繕計画を策定する予定である。生活道路については、従来どおり、住民からの要望などに基づき、現場を確認した上で、その都度補修していくことを考える。



道路舗装の修繕の様子